

平成 28 年度ダイオキシン類環境モニタリング調査結果について

1 調査結果の概要

県では、毎年、ダイオキシン類対策特別措置法第 27 条第 1 項に基づき、県内の大気、公共用水域、地下水及び土壌について、ダイオキシン類による汚染の状況を調査しています。

平成 28 年度の調査結果は次の表のとおりであり、**全ての地点で環境基準を達成しました。**

調査対象		調査 地点数	調査 回数	調査結果 (濃度分布)	環境基準	単位 ^{※1}
大気環境	一般環境	5 地点	年 4 回	0.0049～0.0090	0.6 以下 (年平均値)	pg-TEQ/m ³
	沿道	1 地点	年 4 回	0.0061		
	発生源周辺 ^{※2}	4 地点	年 4 回	0.0049～0.27		
公共用水域	水質	34 地点	年 1 回	0.025～0.18	1 以下	pg-TEQ/L
	底質	34 地点	年 1 回	0.15～4.1	150 以下	pg-TEQ/g
地下水		7 地点	年 1 回	0.025～0.036	1 以下	pg-TEQ/L
土壌	一般環境	7 地点	年 1 回	0.0014～9.0	1,000 以下	pg-TEQ/g
	発生源周辺 ^{※2}	36 地点	年 1 回	0.015～36		

※1 単位の「pg(ピコグラム)」は1兆分の1グラムを意味し、「TEQ」は測定されたダイオキシン類の量を、ダイオキシン類の中で最も毒性が強いとされる2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した量(「毒性等量」という。)を表す。

※2 本県の主な発生源は、廃棄物焼却施設。

2 今後の対応

平成 29 年度も調査を継続中であり、今後も調査を実施していきます。

表1 環境大気中のダイオキシン類の調査結果

(大気環境基準 : 0.6pg-TEQ/m³以下)

区 分	調査地点	ダイオキシン類毒性等量濃度 (pg-TEQ/m ³)				
		年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
一般環境 (一般的住居地域)	盛岡市津志田※	0.0090	0.0095	0.0067	0.0056	0.014
	北上市芳町	0.0090	0.0065	0.0049	0.0074	0.017
	大船渡市猪川町	0.0049	0.0047	0.0050	0.0051	0.0048
	宮古市横町	0.0070	0.0045	0.0042	0.0054	0.014
	二戸市荷渡	0.0060	0.0088	0.0049	0.0044	0.0059
沿 道	一関市三反田	0.0061	0.0051	0.0042	0.0052	0.010
発生源周辺 (廃棄物焼却炉 の周辺地域)	盛岡市玉山区※	0.27	0.45	0.24	0.32	0.088
	北上市和賀町	0.0058	0.0049	0.0042	0.0056	0.0083
	九戸村江刺家	0.011	0.0075	0.0071	0.016	0.013
	釜石市平田	0.0049	0.0049	0.0045	0.0042	0.0058

※ 盛岡市が測定を実施

図1 平成28年度ダイオキシン類（環境大気）モニタリング調査地点

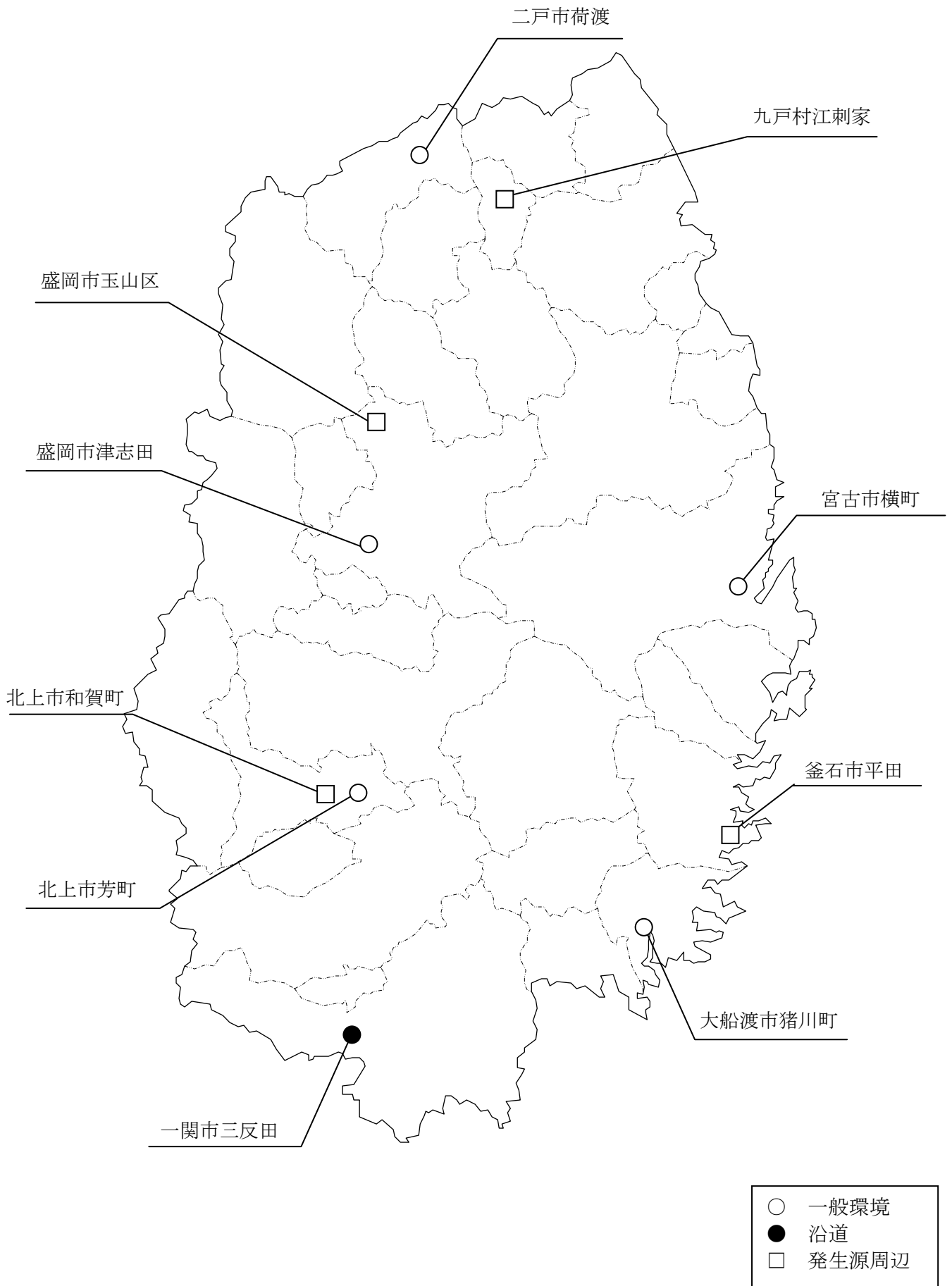


表2 公共用水域のダイオキシン類の調査結果

(環境基準：水質 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150pg-TEQ/g 以下)

区分	調査地点		毒性等量濃度		調査地点		毒性等量濃度	
	水域名	地点名	水質	底質	水域名	地点名	水質	底質
河川	雫石川上流葛根田川	葛根田橋	0.066	0.15	田代川上流	田老橋	0.034	0.15
	取染川	赤渕付近	0.061	0.18	野津辺沢	砂防ダム上流	0.040	0.15
	上野沢	全農排水溝上流	0.065	0.17	北上川(1)	岩崎橋	0.052	0.16
	稗貫川	稗貫川橋	0.039	0.17	豊沢川中流	新淵橋	0.090	0.34
	猿ヶ石川	安野橋	0.033	0.18	猿ヶ石川	札幌橋	0.026	0.15
	和賀川下流	九年橋	0.071	0.16	人首川	江雲橋	0.18	4.1
	宿内川	宿内橋	0.044	1.1	久保川	赤子橋	0.085	0.43
	衣川	衣川橋	0.069	0.31	黄海川	樋口橋	0.044	0.15
	胆沢川下流	再巡橋	0.070	0.23	瀬月内川	大向橋	0.040	0.23
	金流川	天神橋	0.14	0.35	安比川	合川橋	0.095	0.31
	千厩川下流	松形橋	0.082	0.16	小本川 ※1	惣畑橋	-	-
	盛川下流	佐野橋	0.029	0.16	甲子川	大渡橋	0.055	0.16
	気仙川	姉齒橋	0.025	0.31	中津川中流 ※2	水道橋	0.041	0.21
	馬淵川上流	府金橋	0.038	0.32	諸葛川 ※2	諸葛橋	0.052	0.16
	久慈川下流	湊橋	0.040	0.62	築川 ※2	寺沢橋	0.064	0.16
	玉川	もぐり橋	0.043	0.15	乙部川 ※2	乙部橋	0.031	0.33
	湖沼	湯田ダム ※3		0.067	1.9			
海域	久慈湾	S-1	0.025	0.28	山田湾	S-9	0.028	0.64

注) 水質に係る濃度の単位は pg-TEQ/L、底質に係る濃度は pg-TEQ/g

※1 台風10号の影響により河川の濁りの回復が望めなかったため欠測

※2 盛岡市が測定を実施

※3 国土交通省東北地方整備局が測定を実施

図2 平成28年度ダイオキシン類（公共用水域）モニタリング調査地点

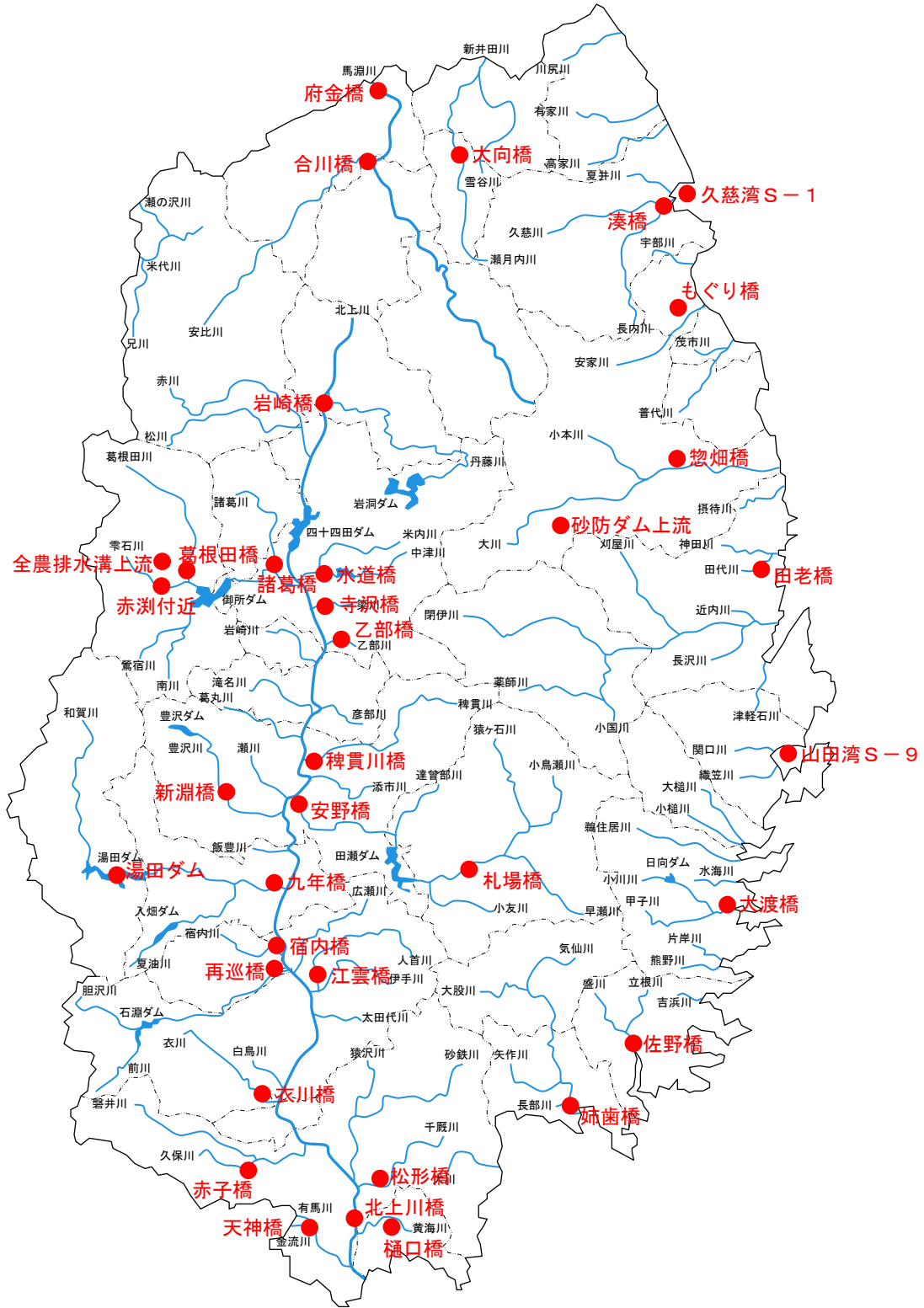


表3 地下水のダイオキシン類の調査結果

(水質環境基準：1 pg-TEQ/L 以下)

調査地点	毒性等量濃度
花巻市内川目	0.026
釜石市中妻町	0.026
岩手町川口	0.025
平泉町長島	0.036
田野畑村蝦夷森	0.031
一戸町奥中山	0.025
盛岡市箱清水※	0.027

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/L

※ 盛岡市が測定を実施

図3 平成28年度ダイオキシン類（地下水）モニタリング調査地点

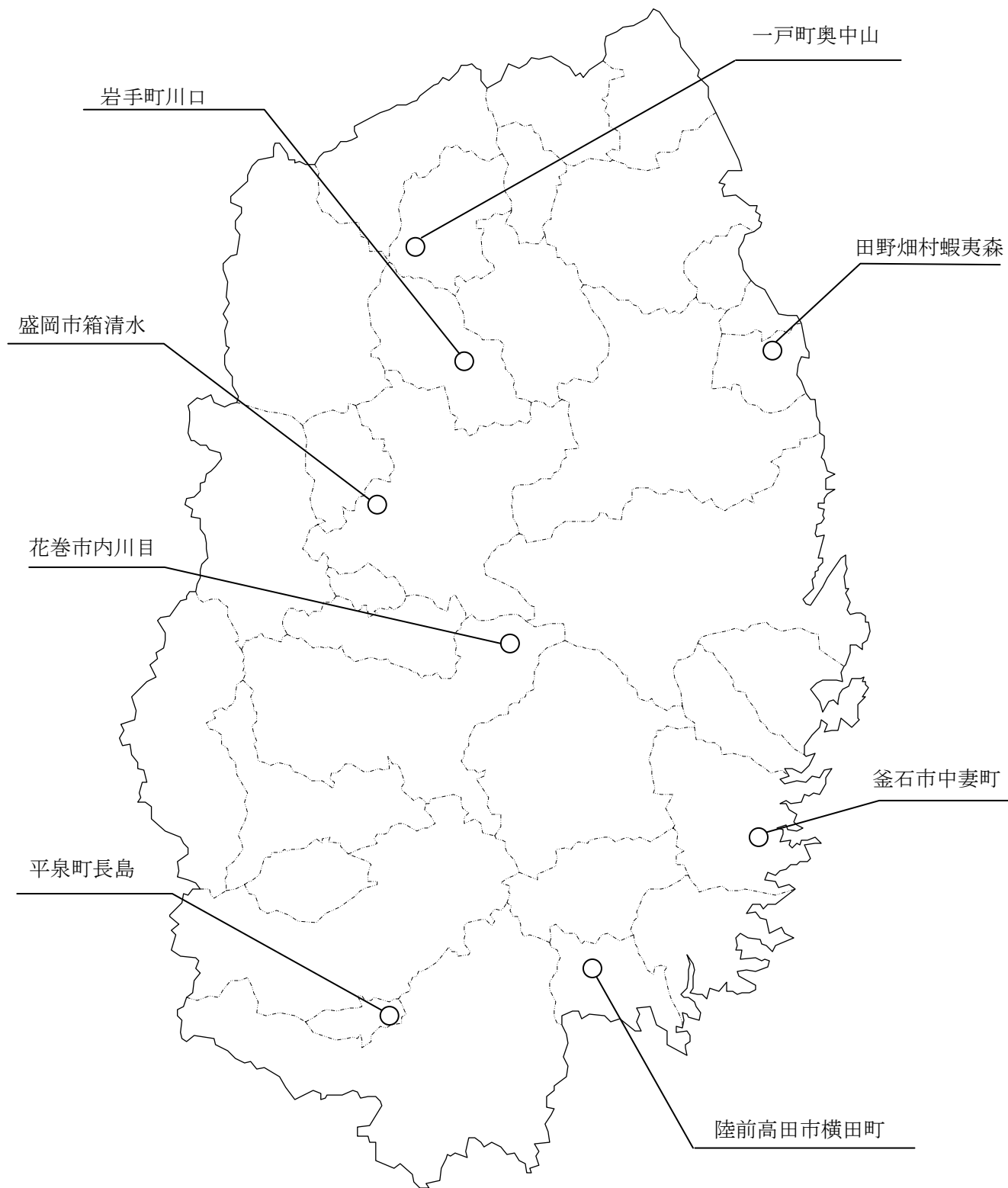


表4 土壌のダイオキシン類の調査結果

(土壌環境基準：1,000pg-TEQ/g以下)

区分	調査地点	毒性等量濃度
一般環境	花巻市材木町	1.3
	釜石市中妻町	9.0
	岩手町大字沼宮内	0.034
	平泉町長島	0.0016
	田野畑村松前沢	0.0014
	一戸町一戸	0.44
	盛岡市厨川 ※	0.012
発生源周辺	A-1 紫波町山屋	0.28
	A-2 紫波町山屋	36
	A-3 紫波町山屋	1.1
	A-4 紫波町山屋	6.1
	A-5 紫波町山屋	0.58
	A-6 紫波町山屋	0.015
	A-7 紫波町山屋	0.87
	A-8 紫波町山屋	0.036
	A-9 紫波町山屋	8.1
	B-1 一関市大東町	0.10
	B-2 一関市大東町	4.6
	B-3 一関市大東町	4.6
	B-4 一関市大東町	0.18
	B-5 一関市大東町	4.1
	B-6 一関市大東町	0.60
	B-7 一関市大東町	1.1
	B-8 一関市大東町	0.14
	B-9 一関市大東町	1.4

区分	調査地点	毒性等量濃度
発生源周辺	C-1 九戸村大字江刺家	1.3
	C-2 九戸村大字江刺家	0.77
	C-3 九戸村大字山屋	4.6
	C-4 軽米町大字円子	2.1
	C-5 九戸村大字江刺家	1.5
	C-6 九戸村大字山屋	1.5
	C-7 九戸村大字江刺家	1.6
	C-8 九戸村大字江刺家	2.5
	C-9 九戸村大字江刺家	0.015
	D-1 盛岡市川又 ※	3.7
	D-2 盛岡市川又 ※	19
	D-3 盛岡市川又 ※	3.2
	D-4 盛岡市川又 ※	4.1
	D-5 盛岡市川又 ※	6.9
	D-6 盛岡市川又 ※	5.2
	D-7 盛岡市川又 ※	8.6
	D-8 盛岡市川又 ※	4.6
	D-9 盛岡市川又 ※	30

備考) 濃度の単位は pg-TEQ/g

※ 盛岡市が測定を実施

図4 平成28年度ダイオキシン類（土壌）モニタリング調査地点

